



甲賀市甲南町野川818 甲南第三地域市民センター TEL/0748-86-8518 FAX/0748-86-8519  
市役所の業務：午前8時30分～午後5時15分

## 会長の挨拶

## 令和2年度を終えて…

私も何度もいろいろな役をさせて頂き、年度の終了にはそれなりの達成感や満足感を感じるものですが、今年度に関しては全く違う一年の終わりとなりました。区長さんをはじめ、多くの役員さんにとっても同じ気持ちの方も多いと思います。抱負を持って役に望まれたことと思いますが、ことごとく行事の中止や会議の縮小などに追われ、飲み会や懇親会もすることができず、役員同士のコミュニケーションさえ難しい一年でした。

宮地区自治振興会では、総会を書面による総会としたほか、子ども会の研修旅行、第三学区運動会、わくわくフェアなどを中止とさせて頂きました。最後まで諦めずどうしたらできるか検討した結果ではありますが残念に思います。子ども達や多くの区民の皆さんからも、「楽しみにしていたのに寂しいなあ」と言う声も多く聞きました。

8月に実施した、第三小学校の草刈りボランティアは地域の方に来て頂いた唯一の行事となりました。例年を超える人に参加頂きあっという間に学校周辺が綺麗になっていったのには驚きと感銘を受けました。

3月に配布することができました「ふるさと宮」は当初4年間での完成を見ていましたが6年も経過してしまいましたが、ようやく各戸にお渡しすることができました。何から始めれば良いかも解らないままのスタートではありましたが、途中何度も足踏みもありました、もう投げそうになったこともありました。根気よく最後までお付き合い頂いた編集委員の方々には心より御礼申し上げます。地域の皆様から「ふるさと宮」がどう評価されるのかは不安ではありますが、予算の都合上ページ数や文字数の制限が有る中で、良い冊子ができたなあと感じております。

マスク配布や、各区への発電機の設置などコロナ禍での地域貢献は果たせたかと考えております。1年間を通じ皆さんとの出会いも少なかったこの一年ですが、地域の皆様の支えで今年も終えることができました。心よりお礼申し上げます。「来年こそ」という言葉を噛みしめて、あと一年の任期を全うしたいと思います。どうか皆様も体をいたわり、感染予防を心がけ、再び活気ある宮地区になるよう共にがんばりましょう。



今年度は、疫病蔓延の為、子供会研修旅行、第三学区運動会、宮健康推進事業、カルチャー教室と、人の多く集まる行事は全て中止となりました。名所旧跡看板の整備、小学校入学・卒業、赤ちゃん誕生に祝い品を贈呈などは予定通り実施できました。

この様にひっそりとした宮地区の一年でした。人によると、正常化しても大層な事はせず、ひっそり静かな宮で良いのではとの意見を頂く事があります。でも、自治振興とは地域社会を盛んにする盛り上げる事だと思っ  
てですね。しかしながら、過疎化の波が襲っており、ポツンと一軒家に進行中  
です。だから、若い力が必要なんです。と言っても近隣には生活の基盤となる  
多様な職種が少ない為、地域を離れざるを得ない事も有ると思っ  
ます。

また、田舎の様々な分野の慣行をスリム化する事なども必要ではないで  
しょうか。更にもう一つ若者の田舎離れの要因として、見逃せない事は、  
獣害。獣害は、日常生活に支障を来す阻害物質なんです。私は花ぶんより  
も猿のぶんが嫌いです（笑）うっかり踏む事もあります。若者に限らず怒  
りがぶん闘します。本会の数有る行事の中でも重要課題として扱い、地域  
振興部会で対応して頂いております。

ネオンちかちか或いは里山地域など、住めば都、どこに住んだって色々  
有る。隣の芝生は青く見えるものです。市内には、もっと戸数が少なく、  
不便そうな地域でさえ、それなりに運営されています。

さて、次年度のミッションは冒頭掲げた行事等を実施したいのですが、  
依然としてこのはやり病は警戒の必要があり、先行き不透明な状況です。  
どこへ船が着くのやら。そんな思いです。

これからは、温暖な気候で活動的になります。野良仕事で体を動かし健  
康的な毎日が送れます。でも、まだまだ濃厚接触はダメ、農耕接触は問題  
ナシ（笑）

コロナ禍に伴い、10年先はかなり社会構造が変化しているだろうと言  
われています。田舎が注目されて来ました。その波及効果によって、ええ  
とこ宮と思える様になればいいですね。文意整わず失礼しました。年度末  
の挨拶とさせていただきます。



## 地域振興部会長の挨拶

部会長：岡崎 敏夫



全く前例のない一年が終わりましたが、今年度は、とにかく密を避けて安全な状況を確認することが大前提でしたので、当初計画していた事業で学区民に集まって活動していただく予定の事業がほとんどできませんでした。

一番楽しみにしておられた「わくわくフェア」についても、役員一同が頭を悩ませておりましたが、社会情勢により開催できず軸忸たる思いがありますが、一方で、通年事業の防災備品整備事業においては、当初2年計画であったガスを燃料にした発電機の導入が、一気に各区に整備できる等の前倒しの整備が出来ました。

不甲斐なく終わった一年でしたが、新年度こそはとの希望をつないで報告とさせていただきます。

## 執行部・事務局の挨拶

事務局長：山川 清治



令和2年度は、コロナ禍で始まりコロナ禍で終わった一年でした。執行部・事務局では、毎月、定例・臨時の役員会を開催し、コロナ禍の中で事業実施への検討を重ねましたが、結果として本年度は各部会のほとんどの事業が中止されることとなりました。

事業未執行の予算については、令和3年度以降に実施を計画していた「防災備品整備事業」を、本年度に前倒しして実施することや、また、コロナウィルス対策事業の一環として、各戸にマスクの配布をするなど自治振興会ならではの取り組みに活用することができました。更には、地域市民センター階段の手すり取り付けなどのバリアフリー化事業にも取り組むことができました。

広報「あさのがわ」は、計画どおり年4回の発行と、新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業中止のお知らせをして、特版を1回発行し、自治振興会の情報発信に努めました。また、計画期間の10年が終了する「宮地区まちづくり計画」について見直しを行いました。

最後に、6年の歳月をかけ取り組んできました「ふるさと宮」が発刊できましたことについて、これまで編集に関わっていただきました皆様に感謝を申し上げますとともに、一日も早いコロナ禍の終息を願って、皆様には、引き続き自治振興会の活動にご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

## 地域マネージャーの挨拶

地域マネージャー：井ノ口 豊美



4月より市民センターにお世話になり、宮に住んでいながら今まで何も知らなかった事を学ばせて頂きありがとうございます。これからも地域の方と関わり、努力していきたいと思っています。

令和2年度は、新型コロナウイルスに振り回され自治振興会の事業計画もほとんど中止せざるを得ない状況になりました。そのため、皆さんが楽しみにしておられたわくわくフェアも出来なくなりとても残念に思っています。来年こそは、皆さんの笑顔あふれる事業が行われることを願っています。

# 「ふるさと宮」の発刊



平成27年度から自治振興会の歴史文化調査事業のなかで、編集委員会を中心に取り組んできました「ふるさと宮」の編集作業がこのたび完了し、本年3月に発刊することができました。宮学区のみなさんには、一戸に一冊を配布させていただきました。この一冊が、私たちが住む宮地域の歴史や文化などを知る一助になれば幸いです。



宮のお宝



祝

お祝い事業



## 第三小学校

- ・令和2年度卒業生… 5人 自治振興会より記念品を贈り、
- ・令和3年度入学生… 6人 地域全体でお祝いをしました。



【編集後記】今年度最後の広報「あさのがわ」3月号となりました。本年度はコロナ禍で各部会の事業が中止され、広報記事の材料に頭を痛めました。何とか計画どおり4回発行することが出来ました。皆様には一年間ありがとうございました。新年度はコロナ禍の一日も早い終息を願い、広報の内容充実に努め、地域の皆さんに自治振興会の情報をお届けできるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。